



第72期 中間株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871

Top Message

代表取締役社長 社長執行役員

藤井敏道



■ 当第2四半期の事業環境と業績概況について

当第2四半期累計期間における我が国経済は、輸出関連で一部弱さが見られましたが、各種政策の効果もあり堅調な内需に支えられ、企業収益は底堅く雇用や所得環境の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しております。

一方、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題、消費税による国内景気の低迷懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設産業においては、防災・減災対策や老朽化したインフラ整備等の建設投資は底堅い状況ですが、受注に関しては他社との競争が激化してきております。

このような経済状況のもと、当社は「中期経営計画2019」の基本方針・戦略に基づき、持続的な企業成長を目指してまいりました。受注高については424億71百万円（前年同四半期比20.4%減）、売上高は477億58百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は22億89百万円（前年同四半期比34.2%増）となりました。

■ 今後の取り組みについて

当社を取り巻く事業環境は、リニア新幹線の整備や大阪・関西万博等の明るい話題もありますが、東京オリンピック・パラリンピックの開催は来年に迫っており、建設需要はピークアウトし、投資における新設から維持補修への質的变化は2020年以降に大きな転換期を迎えます。また、建設産業として、将来の担い手確保や育成、やりがいを感じさせる魅力的な産業の確立が求められ、働き方改革と生産性の向上は喫緊の課題となっております。

斯かる事業環境を鑑み、当社グループは新たに10年後の目指す姿を見直し、それを具現化すべく「中期経営計画2019」を5月に策定し、実行に移しております。今後においては、経営計画にある各種施策の取り組みを加速させ、さらなる収益基盤の強化と変革による成長分野の拡大に努めてまいります。

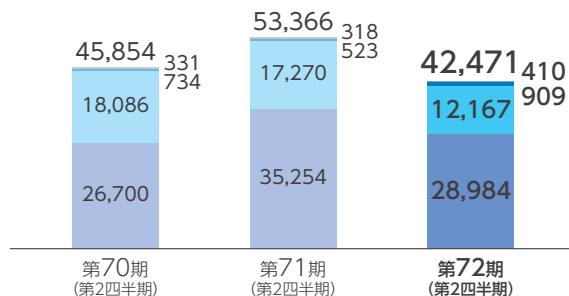
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

事業環境の大きな転換期を迎え 「さらなる収益基盤の強化」と 「変革による成長分野の拡大」に 努めてまいります

連結財務ハイライト

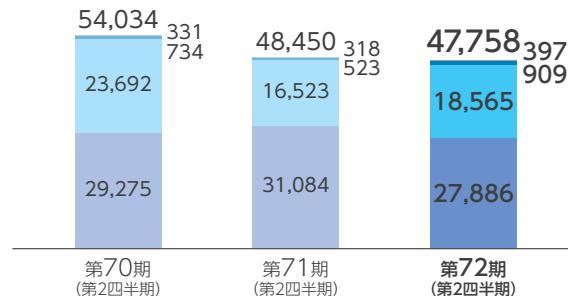
■ 受注高 (セグメント別) (単位:百万円)

■ 土木 ■ 建築 ■ 製造 ■ その他



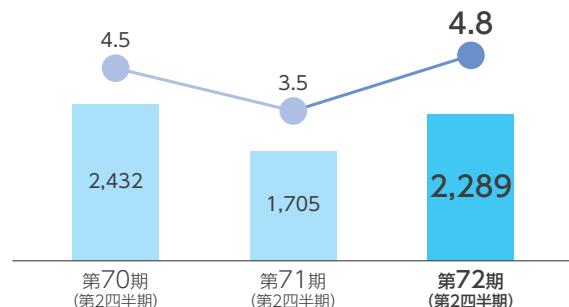
■ 売上高 (セグメント別) (単位:百万円)

■ 土木 ■ 建築 ■ 製造 ■ その他



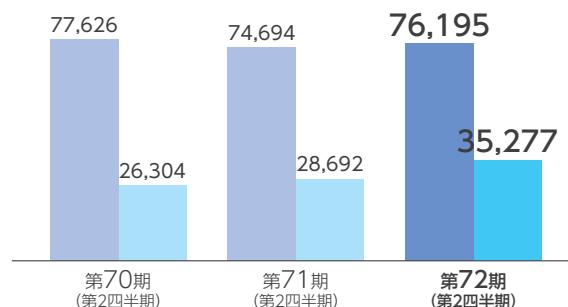
■ 営業利益 (単位:百万円) / 営業利益率 (単位:%)

■ 営業利益 ● 営業利益率



■ 総資産 / 純資産 (単位:百万円)

■ 総資産 ■ 純資産

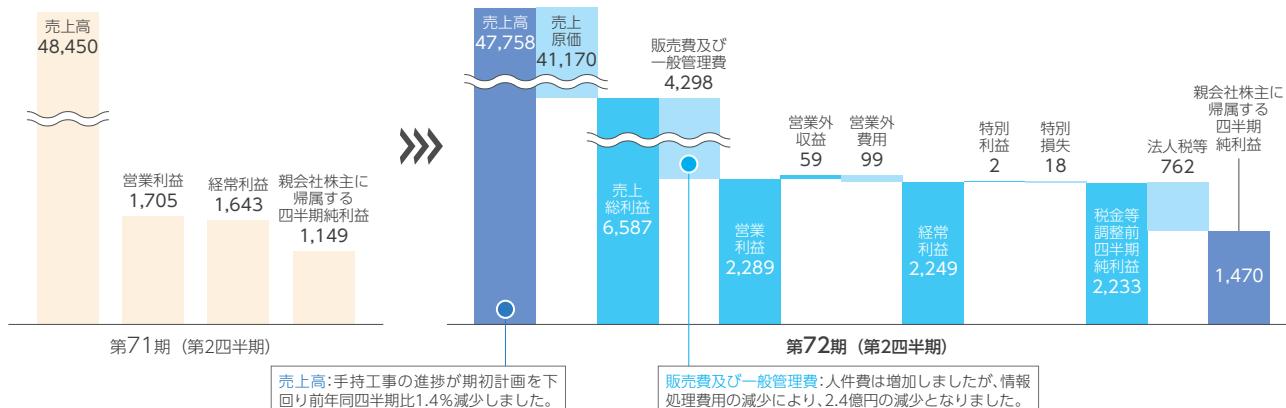


連結財務ハイライト

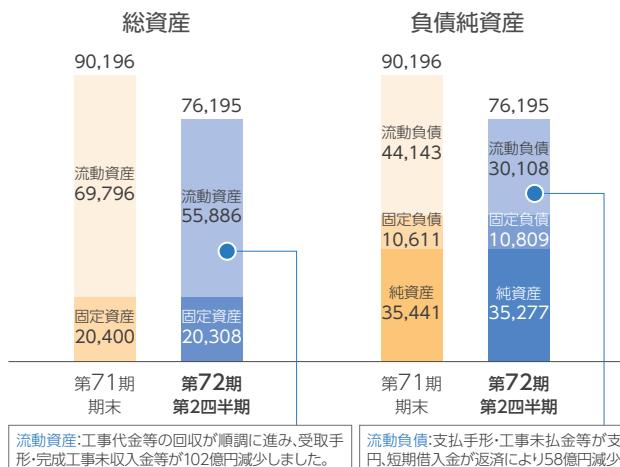
当第2四半期のポイント

- ▶ 売上高は手持工事の進捗が期初計画を下回り前年同四半期並びに期初計画より減少
- ▶ 営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前年同四半期比で減少するも期初計画より大幅増加

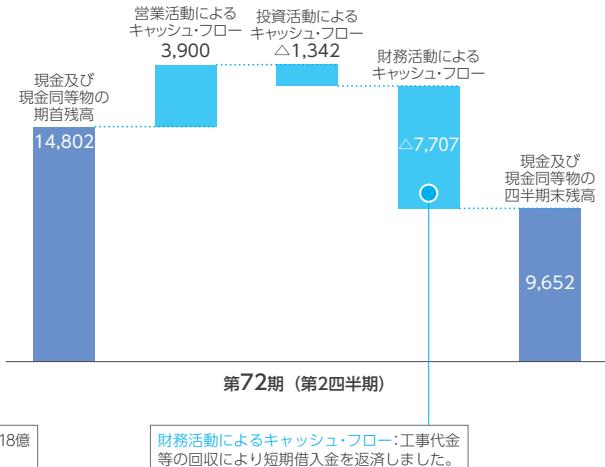
■ 四半期連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



■ 四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



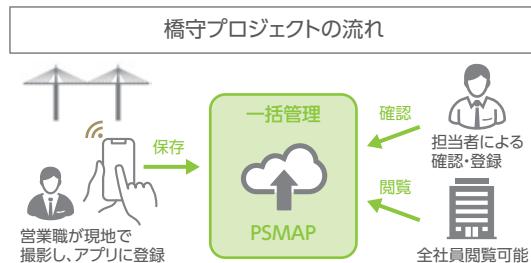
ピーエス三菱の橋守プロジェクト ～橋梁の維持管理技術向上へ貢献

ピーエス三菱の橋守プロジェクトは、2011年、橋梁の維持管理時代の到来を見越し、当社が独自に開始しました。当初は専門の技術系職員が当社施工の橋梁(約3万橋)を1橋ずつ点検して劣化状況を評価し、ひび割れや漏水、構造上の劣化などが見つければ道路管理者に情報提供をしてきました。

2013年7月、国交省による「道路法施行規則の一部を改正する省令」が施行され、橋長2m以上の橋梁は管理者(専門家)による5年に一度の近接目視が義務化されたことを受け、点検方法を見直し、2018年からは支店の協力を得て、各場所の営業職が橋梁を遠方目視し、自社開発「橋どこ?アプリ」で写真を撮影の上、簡易点検調査書を作成する手法に改めました。その後、支店担当者が点検調査結果を確認し、社内のデータベース「PSMAP」にそれらの情報を登録します。

点検方法を改めた結果、橋梁データ収集のスピードが大幅にアップしました。また、工事竣工時にも簡易調査を実施し、初期情報として登録することも検討しています。

このプロジェクトはすぐ目に見える成果には結びつきませんが、蓄積された情報は維持管理に関する社内関係者の意識向上や、災害時に関係者へ迅速に情報を提供することで社会貢献できると考えております。



橋どこ?アプリ

写真撮影
・メモ
が簡単

GPSにより
位置情報
が正確

- ・点検記録の他、竣工図書等と一緒に保存
- ・簡易調査には緯度・経度を示し、地図アプリと連動

※新設橋梁は初期点検を実施



点検の様子

interview



技術本部技術部
諸橋 敏敏

■このプロジェクトの意義は？

自社施工橋梁の正確な情報管理は、施工会社としての責任でもあり、かつ、今後、各支店担当者と道路管理者の良好な関係づくりにも役立つことが期待できます。

■得られた情報の活用方法および今後の課題は？

年1回の全国橋守プロジェクト会議で情報を共有し、問題点をあげたり、成功例を紹介しています。地道な活動のため、社内でも理解が得にくい面があると思いますが、プロジェクトの意義を全社的な共通認識にして、さらに協力を得たいです。

■「橋どこ?アプリ」のメリットは？

スマートフォンで利用できることで、営業職が外出時に簡単に橋梁の写真撮影やメモ作成ができること、GPS機能で正確な位置情報が自動的に得られることです。



技術本部技術部
開発技術グループ
雨宮 美子

北陸新幹線・九州新幹線で集中受注～直近3年 約120億円

人々の生活や社会の発展に大きく貢献する新幹線整備事業。当社では、1955年代の高度成長期に東海道新幹線をはじめ、山陽、東北・上越新幹線など数々の新幹線建設に携わってきました。

現在では、北陸新幹線（金沢～敦賀間）、九州新幹線（西九州ルート）において数多くの橋梁を建設中で、これまでに培われた高い技術力と豊富な経験に基づく施工力で日本の新幹線インフラ構築に貢献しています。



寺井橋りょう(PCけた)

受注額 1,089百万円
形態 単独
工期 2019.1～2020.10



第4 矢田野橋りょう(PCけた)

受注額 2,073百万円
形態 単独
工期 2017.11～2020.4

七尾工場

越前・敦賀間
軌道スラブ製作運搬

受注額 3,140百万円
形態 JV代表(65:35)
工期 2019.4～2022.10

北海道新幹線

札幌

新函館北斗

東北新幹線

新青森

八戸

盛岡

北陸新幹線

金沢

新潟

長野

高崎

大宮

東京

九州新幹線
(西九州ルート)

博多

長崎

新鳥栖

新八代

鹿兒島中央

九州新幹線
(鹿児島ルート)

長崎

武雄温泉

— 開業区間

— 建設中

●●● 未着工

第1長崎橋りょう(PCけた)

受注額 1,310百万円
形態 単独
工期 2019.3～2020.12

第2田島川橋りょう(PCけた)

受注額 822百万円
形態 単独
工期 2019.3～2020.12



第1下粟津橋りょう(PCけた)

受注額 1,410百万円
形態 単独
工期 2017.11～2020.2



井手川内橋りょう(PCけた)

受注額 1,302百万円
形態 単独
工期 2016.8～2018.10



大上戸川橋りょう(PCけた)

受注額 1,873百万円
形態 単独
工期 2017.12～2020.3

当社初

定期借地権による不動産ストック事業 リバーテラス仙台支倉 竣工

2018年6月より建設を進めていた当社初の不動産ストック事業である「リバーテラス仙台支倉」が本年3月末に竣工しました。

当社グループでは、これまでも賃貸住宅や土地の賃貸は行っていましたが、50年間の定期借地権による不動産ストック事業は今回が初めてとなります。

不動産ストック事業とは、土地や建物を所有・賃借して有効活用し、それによる地代や家賃などの収入を得るもので、その収益は会社全体としての兼業事業に計上されます。一般的に不動産活用のポイントは、「立地」「適切なテナントの選定」に集約されるため、今回は大学・専門学校などが多い立地を活かし、学生寮と生活に密着したドラッグストアというテナントで構成しました。

本年5月に策定した「中期経営計画2019」では、3カ年の投資計画として安定的収益確保を目指し、住宅・事務所・医療福祉・倉庫等の多様な新規開発を行うこととしています。今後も引き続き、保有・賃貸・管理・修繕などの建築周辺事業を推進してまいります。



◀ 広瀬川が至近にあり、
商業地と住宅が程よく
マッチした好立地に建設



学生寮への入居も完了し、店舗も5月末にオープン



食堂



エントランス

工事概要

- ・建物名称 リバーテラス仙台支倉
- ・工事場所 宮城県仙台市青葉区支倉町2-3
- ・事業主 (株)ピーエス三菱
- ・意匠設計 (株)INA新建築研究所
- ・工事監理 (株)ピーエス三菱東北支店
- ・敷地面積 1,898.58㎡
- ・延床面積 6,063.28㎡
- ・構造規模 S造11階建
1～2F (店舗)
3～11F (学生寮)

橋梁および土木構造物に関する共同研究の合意書締結

【インドネシア共和国】



当社森副社長(左)とIRE Deded P. Sjamsudin所長(右)

インドネシアでは、10年後に約50%の橋梁が供用後50年を迎える状況となっており、日本と同様にインフラ構造物の老朽化が大きな課題となっています。

そこで当社が開発したコンクリート構造物に対する新しい電気防食技術を用いて、インドネシア共和国公共事業・住宅省の道路技術研究所(IRE)とともにインドネシア国内での適用性と有効性を確認し、同国での規準化を目指し、試験施工を順次行っていきます。

— 主な共同研究内容 —

1. 橋梁および土木構造物に関する研究活動
2. Znカートリッジ工法(電気防食技術)を用いた橋梁維持管理技術の開発
3. 遠隔監視装置を用いた橋梁監視技術の開発

12年ぶりの海外工事元請受注

【ミャンマー連邦共和国】

当社と株式会社安藤・間による共同企業体が、ミャンマー連邦共和国建設省橋梁局より日本政府の有償資金協力事業として実施される橋梁工事を昨年受注しました。当社としても2006年以来12年ぶりに元請として海外での建設工事受注となり、2021年の竣工に向けて施工が続いています。

「中期経営計画2019」の事業方針でもある「海外事業の拡大」を目指し、今後もさまざまな請負形態で受注を目指していきます。

東西経済回廊整備計画
(パッケージ1、ジャイン・コーカラー橋)



CSR活動

建設業や当社へのご理解をより一層深めていただくため、「地域社会への貢献」の一環として実施しているCSR活動を一部ご紹介いたします。

現場見学会

近隣住民の方々や幼稚園児、小・中学生を対象に現場見学会を積極的に開催しています。

見学会では、橋の説明はもちろんのこと、新しい橋の橋面にお絵かきをするイベントや高所作業車に乗車する体験などを実施しました。

特に、高所作業車体験乗車は大変好評でした。



学生向け研修会

理工系の学生を対象にした研修会等も多く開催しています。

関係会社のピー・エス・コンクリート(株)水島工場において、建築学科3年の大学生80名を対象に、RC構造の授業の一環として、「PC構造」や「PCa部材製造」について講義し、PCの概要説明、場内PCa製造状況見学、PC板上の跳躍体験等を行いました。



「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」をCSR基本活動方針に掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念の実現に向けて、社会との繋がりを考えた事業活動を行っております。また、そのためのPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、充実したCSR活動を行うことでステークホルダーの皆様からの信頼向上を図るべく取り組んでいます。

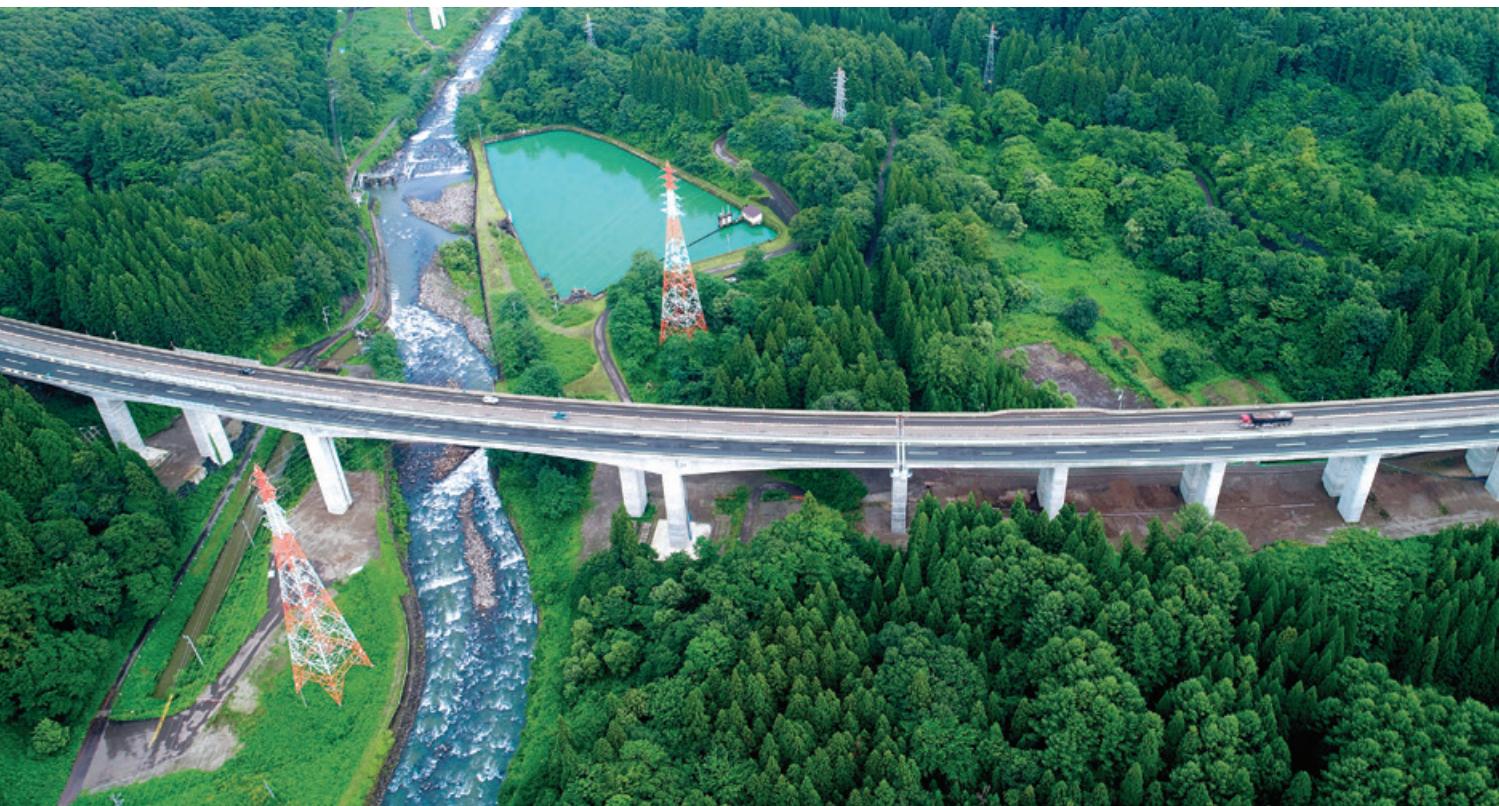
CSR報告書2019

当社ホームページ内の「CSR報告書」にて、CSR活動の情報がご覧いただけます。

アドレスはこちら ▶ <http://www.psmic.co.jp/csr/>



完成工事のご紹介・・・土木編



上信越自動車道 れいめい橋(PC上部工)工事 [長野県～新潟県]

本工事は、上信越自動車道の4車線化事業の一環として架設された橋梁上部工工事で、長野県と新潟県のほぼ県境に位置する橋長500.5mのPC5+3径間連続ラーメン箱桁橋です。

積雪寒冷地での架設であったため、特に構造物の耐久性向上や維持管理に配慮された構造となっています。

今後における上信越自動車道の交通渋滞緩和や冬期の円滑な交通確保が期待されています。



横環南栄IC・JCT下部

(その37)工事

[神奈川県]

横浜環状道路は横浜の中心部から半径10～15kmを環状に結ぶ自動車専用道路であり、その南側区間は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部を形成し、横浜横須賀道路と国道1号を繋ぐ横浜環状南線として事業が行われています。

本工事は、横浜環状南線栄IC・JCT（仮称）内の張り出し式RC橋脚1脚（高さ27.7m、コンクリート量約1,150m³、場所打ち杭φ1,200長さ16.5m 32本）を施工する工事であり、JCT内で多数の橋脚が同時施工を行う狭小ヤードの中で構造物の構築を行いました。

この事業により、横浜からの全国各地へのアクセス向上および日本有数の観光スポット横浜への観光客誘致が期待されます。



東海環状北方第3高架橋

PC上部工事

[岐阜県]

本工事は、東海環状自動車道（大垣西IC－大野神戸IC間）に位置するPC6径間連結コンポ橋（橋長228m）の高架橋です。

東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重の3県を連結するとともに東名・名神・新東名・新名神高速道路などと一体となって、広域的なネットワークを形成する高規格幹線道路です。アクセス向上により、観光活性化・中京圏全体の経済発展が期待されます。

完成工事のご紹介・・・建築編

草津電機株式会社新事務所棟建築工事 [滋賀県]

本社敷地の一部が県道の道路拡幅計画地に該当していたため、前事務所棟を移設して、隣地に新たな事務所棟を建設しました。

新事務所棟は、当社の設計施工による鉄筋コンクリート造 地上5階建て、延床面積1,558.43㎡の本社ビルです。室内に14mスパンの大空間を確保するため、当社のPC技術である大梁現場緊張（VSL工法）を採用しました。



畜産研究部門研究棟耐震補強工事 [茨城県]

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構は、わが国の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究を行う機関です。

畜産研究部門の研究棟を耐震化するにあたり、建物を使用しながら補強工事を行うことができる「ピタコラム工法」（外部作業のみで建築物の耐震性能を飛躍的に向上させることができる鉄筋コンクリート造の建物向けの耐震補強工事）の使用により、研究・開発の妨げにならないように細心の注意を払いながら完工しました。





本郷中央病院 西日本豪雨災害復旧工事 [広島県]

本郷中央病院は、2018年7月の西日本豪雨災害により、近くを流れる沼田川が氾濫し、4階建て建物の1階天井近くまで浸水したことで診療機能を失いました。

2階で仮診療が再開され、病院を稼働させながら、早期復旧に向けて1階部分の改修工事を設計施工で取り組みました。

ウジエスーパー吉岡店 [宮城県]

本物件は、宮城県大和町吉岡に新築された敷地面積10,231㎡、延床面積3,147㎡の大型スーパーで、当社施工実績において12店舗目の施設となります。

敷地内には、女性専用ジムおよび学習塾・美容室・コインランドリーがあり、憩いのスペースとして石庭を設け、多くの世代が集える場となっています。



■ 会社概要

商号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設立	1952年3月1日
資本金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,116名 連結：1,736名
本社・支店	
本社	〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9611
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0036 広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル (082) 240-7011
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル (092) 739-7001

■ 役員

取締役および監査役

代表取締役社長	藤井敏道
代表取締役副社長	森拓也
代表取締役	蔵本修
代表取締役	黒柳辰弥
取締役	小山靖志
取締役	居村昇
取締役	岸和博
取締役	鈴木俊明
取締役	佐野裕一
常勤監査役	朝倉浩
常勤監査役	水嶋一樹
常勤監査役	正木慎一

(注) 取締役岸和博、鈴木俊明、佐野裕一の3氏は社外取締役であります。
監査役朝倉浩、水嶋一樹の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社長執行役員 (全般統理)	藤井敏道
※ 副社長執行役員 (社長補佐・海外事業担当)	森拓也
※ 専務執行役員 (土木本部長)	蔵本修
※ 専務執行役員 (建築本部長)	黒柳辰弥
※ 常務執行役員 (管理本部長)	小山靖志
※ 常務執行役員 (経営企画担当・ 建築本部副本部長)	居村昇
常務執行役員 (国内関係会社担当 兼安全品質環境担当)	塚原明彦
常務執行役員 (東京建築支店長)	川原利朗
常務執行役員 (東京土木支店長)	宮脇裕明
執行役員 (建築本部副本部長 兼建築営業部長)	山田宏志
執行役員 (大阪支店長)	森島修
執行役員 (東北支店長)	光田秀幸
執行役員 (技術本部長)	三島康造
執行役員 (名古屋支店長)	藤原博之
執行役員 (建築本部副本部長)	寒川勝彦

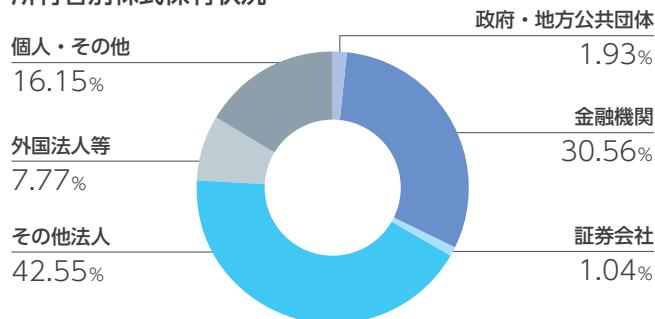
■ 株式の状況

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	7,643名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
三菱マテリアル株式会社	15,860,354	33.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.45
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	4,373,700	9.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,034,900	4.28
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	956,700	2.01
岡山県	839,740	1.76
RE FUND 107-CLIENT AC	583,700	1.22
岩崎 泰次	531,300	1.11
三菱地所株式会社	496,000	1.04

所有者別株式保有状況



ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

アドレスはこちら

<http://www.psmic.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
1871

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



*本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>

(1809)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

表紙の説明



本物件は、宮城県仙台市中心部に立地する当社初の不動産ストック事業の複合施設です。施工にあたり、近隣・各テナントのさまざまなニーズに応え、事前に協力会社と工程調整・人員計画など綿密な打合せを行いながら、高品質な建物を安全かつ短工期に完工しました。(詳細は本紙6頁で紹介しています)

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地(=土木)、ブルーが空(=建築)、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



JPX-NIKKEI Mid Small

2019年度選定



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。